

令和元年度子ども議会（中学生の部） 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
1	1	藤沢中学校	コミュニティーバスの運行域と運行本数について	・高齢者が運転する車が起こした交通事故のニュースを連日耳にします。 ・私の祖母は自分で車を運転しますが、そろそろ免許返納しようかと言っています。免許返納によって祖母の交通手段がなくなってしまいます。自転車で近くのスーパーに行くことはできますが、駅や遠くまでは行けずかわいそうです。 ・市ではコミュニティバスを運行していますが、もっと運行本数を増やせば高齢者のバス利用が増え、事故を減らせるのではないのでしょうか。 ・コミュニティバスの運行地域拡大と運行本数増加を検討ください。	・連日、ニュースで高齢者の自動車運転事故が話題になっていますが、運転に危険を感じさせる高齢ドライバーに対して、免許を取り消すことは困難であり、あくまで「自主返納」に頼っている状況です。 ・人口密度が高い都心部では大量交通機関が整備されていますが、地方では自動車が生活必需品となっています。 ・地方の地域では自治体が運行しているコミュニティバスが公共交通機関の役割を担っています。 ・深谷市のコミュニティバスも、多くの皆様の継続したご利用があれば、運行範囲、本数を増やしていけますが、現状では難しく、今後の利用ニーズに合わせて検討していきます。	都市整備部長		
2	3	深谷中学校	総務部の仕事について	・市役所を建てるためにどのくらいの費用がかかり、それはどこから捻出されたものですか。広報でも見ましたが、もっと詳しく教えてください。 ・市役所を建てかえる理由は何ですか。	・市役所の建設費用は全体で、約79億5千万円必要で、市役所建設費用、駐車場、緑地の整備費用、現市役所の取り壊し費用、及び設計費用などが含まれます。 ・工事費用は主に借入金で賄っています。合併特例債を使い、返済金の70％を国が負担(交付税措置)してくれ、市の負担を少なくできます。 ・建て替えの理由として、現在の市役所は、大規模な地震時に壊れる危険性があり、市役所は災害時に重要な拠点となる役割を担っているため、大規模地震に耐え災害時対応が継続できるよう、安全・安心な市役所を建てることにしました。	総務部長	・借りたお金は、いつまでに、どのようにして返すのですか。	・手元に資料が無く、いつまでという回数は回答できません。皆さんが納める税金の中から少しずつ返していきます。
3	5	幡羅中学校	教科書のデジタル化について	・教科書などの荷物が重くなり、登下校の負担が大きくなっています。 ・市ではiPadなどの電子機器を使用した授業を行っており、教科書などの荷物を減らすことができます。 ・紙の教科書だけでは理解が難しい部分でデジタル教科書を活用すれば理解度深まったり、障害などで紙の教科書をうまく使えない子どもも、他の子と同じように授業を受けられるなどの利点もあると聞きました。 ・私の学校でも、書画カメラやパワーポイントを利用したり、班に1台のタブレットを用いて学習したりしています。 ・さらに学校のICT化を進める取り組みはありますか。	・平成31年4月から教科書の一部をデジタル教科書に代えて使用することが認められました。紙の教科書との併用が前提となっており、授業道具が増えることも予想されます。 ・デジタル教科書には動画やシミュレーションなどの学習コンテンツが収録されていて、生徒の理解が深まるのではないかと考え、調査・研究を進めてまいります。 ・市では他市町村に先駆けてICTの環境整備を進め、校内無線LANの整備やプロジェクター・モニターなどの設置も進めてきました。特に特別支援教育のICT利用では「ふっかちゃんiサポート」事業によりタブレットパソコンを整備し、聴覚に不安のある子の発音訓練に大変な成果が上がっています。 ・タブレットパソコン機能を備えたハイブリッドパソコンへの入れ替えを進め、楽しくわかる授業の推進に努めてまいります。	教育部長		
4	7	明戸中学校	麦などのわらを畑で燃やすことについて	・近所の畑でわらを燃やしているのをよく目にしますが、煙で目が痛くなったり、洗濯物が臭くなってしまいます。 ・法律では野外で燃やすことは禁止されていると聞いていますが、畑については条例で許されているということも聞いています。 ・煙の害がないようにしてもらうことはできますか。	・ごみを屋外で焼却する行為は、廃棄物処理法で禁止されていますが、農家が必要に応じたわら等を畑で燃やす行為は、例外的に認められています。 ・野外焼却禁止の条文は、本来大規模で悪質な廃棄物の野外焼却を取り締まるためのもので、取り締まりの対象としてなじまないものは例外として設定されている。 ・煙で近所の方が迷惑する場合は、市から焼却を控えるようお願いできるので、市環境課まで相談してください。	環境水道部長		
5	9	東京成徳大学深谷中学校	今後の防犯・防災について	・アウトレットや多くの商業施設ができ、たくさんの人が深谷市を訪れることで、事故などの可能性が高くなるかもしれません。交通安全や防犯に関する対策を教えてください。	・交通安全対策は、観光拠点周辺道路の整備や信号・標識の設置など、渋滞対策や歩行者の安全対策について、警察署などの関係機関と話し合いを重ねています。 ・アウトレットモールを運営する企業とも協力し、訪問者が安全に移動でき、地域の皆さんが安心して暮らせる道路環境の実現に努めます。 ・防犯対策は、地元警察署と連携し、地域の方々の協力を得て、市民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に取り組んでいます。例えば、花園地区では青色防犯パトロール活動を行っています。 ・警察署と協力し、市内で発生した犯罪や不審者情報を、防災行政無線で広く市民の皆さんにお知らせし注意を促しています。 ・今年の4月からは、市内の店舗や事業所などを『ふかや防犯協力店』として登録し、防犯活動に協力していただく事業を開始しました。 ・今後も、警察署などと連携し、安全で安心なまちづくりに取り組みます。	協働推進部長		

令和元年度子ども議会（中学生の部） 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
6	11	花園中学校	友好都市・姉妹都市・国際交流都市との小・中学生の交流について	・国際交流はこれからの社会を担う私たちにとって大切なものだと思います。 ・友好都市、姉妹都市、国際交流都市とどのような交流を行っていますか。 ・私たちにも交流に参加できる機会がありますか。もしあるなら、交流の機会をアピールしてください。	・市では、友好都市、姉妹都市、国際交流都市と中学生派遣事業や記念行事への参加、使節団等の派遣など行っていました。 ・現在は、市内に居住する外国籍住民が増加していることから、姉妹都市等に特化した事業ではなく、ホームステイの受け入れ支援や市内の国際交流イベントへの協力など、多文化共生事業を推進しています。 ・ホームステイの受け入れ家庭登録の募集などを市広報や市ホームページ、窓口で案内しています。	協働推進部長		
7	13	川本中学校	地震によって停電した場合の深谷市の対応について	・震災などで停電や計画停電時に深谷市独自のソーラーパネルで発電した電気を市内で使うことはできませんか。また、周囲の市町村に電気を供給できませんか。 ・ソーラーパネル設置費用の一部を市が援助することは可能ですか。	・災害時の停電対応は、市ではなく電力会社に、復旧工事などをお願いします。 ・ソーラーパネルを設置している公共施設16施設のうち14施設で発電した電気を施設内で使用していますが、不足する電気は電気会社から購入しています。浄化センターの大規模太陽光発電設備でも、一般世帯約350世帯分の電力しかないため、市内の約6万世帯の電力を賄うことはできません。 ・市の発電量が少ないこと、また、市独自の発電施設を持たず、電線などの送電設備もないことから周囲の市町村に電気を供給することができません。 ・市では、住宅用省エネ設備設置補助金でソーラーパネルなどの取付費用の一部を補助しています。 ・万が一の災害時停電に備え、市では東京電力の熊谷支社と電力復旧に関する協定を締結しています。	総務部長		
8	15	岡部中学校	部活動における外部指導者の登録制度の提案について	・中学生にとって部活動は大変重要なものです。 ・顧問のほかに部活動指導員や外部指導者にもお世話になっていますが、指導者が不足していると聞いています。 ・そこで、市民全体の中から指導者を探すのはどうですか。市民全体なら指導者を引き受けてくれる人がいるのではないですか。指導者募集の窓口を市で行ってほしいです。登録制度で指導者不足を解消していただくようお願いします。	・部活動は学校教育の一環であり、学習意欲の向上や、責任感、連帯感を身につける大切なものです。 ・市では部活動の技術的指導の充実のため、平成14年度に外部指導者派遣制度、平成30年度に顧問がいなくても指導できる部活動指導員制度を導入しました。 ・外部指導者は学校が選任し教育委員会に申請します。教育委員会は申請を承認し外部指導者を決定します。 ・市内中学校では、外部指導者39名、部活動指導員2名を配置しており、指導者不足という状況にはありません。 ・学校から指導者斡旋の相談をいただければ、深谷市体育協会などの関係団体等と連携を図り、中学校を支援していきます。 ・指導者不足が生じることが予想される場合は、外部指導者の登録制度を検討していきます。	教育部長		
9	17	上柴中学校	花園IC近くに建設予定の花園プレミアムアウトレットについて	・アウトレットに現時点で集客を見込める具体的な施設や情報などはありますか。 ・県外から来ていただくために、花園のアウトレットに行きたいと思わせるようなものがあるのでしょうか。他にもアウトレットがある中で花園に行きたいと思わせることが大切だと考えます。	・店舗内容については、三菱地所・サイモン株式会社により募集が行われ、決定していくこととなっています。今後の造成工事などの進み具合に応じて施設の募集も始まっていくと思われます。 ・三菱地所・サイモン株式会社はプレミアムアウトレットの全国展開で実績があり、花園もアクセスが良く多くの賑わいを期待しています。 ・キューピー株式会社による野菜をテーマとした事業展開も計画しており、野菜レストランや体験農場など「野菜のテーマパーク」として、市の代表的な産業である農業の発展につなげていく計画です。 ・本プロジェクトはアウトレットモールだけではなく、観光と農業を中心とした様々な施設展開を計画していることから、他のアウトレットモールとは違った「深谷らしさ」を来場者の皆様に提供できるものと考えています。 ・さらに、アウトレットモール西側の公園緑地に、イベント広場や芝生広場、水遊び・ピクニックゾーン、遊具ゾーンなど設置予定です。	産業拠点整備特命監	・アウトレットなどの建設事業費として50億円という多くのお金がかかっているが、どこからそんなにたくさんのお金を支払うのですか。 ・たくさんのお金を使うのに住民投票や市民に説明などする必要があったのではないですか。	・アウトレットなどの拠点整備事業にかかる財源については、税金で賄います。 ・市の農業と観光のために使うお金ですが、市が支払う以上に増収や新たな雇用などの効果を見込んでいます。長い目で見てほしいと思います。 ・やっと工事が始まるので、今後はホームページも随時情報更新されます。楽しみにしてください。
10	19	南中学校	緑で地域をつなぐ活動について	・南中学校では「花の郵便屋さん」という活動を通して、地域のお年寄りに花やメッセージカードを送る活動を行っています。このような心温まる活動を通して地域とつながりを深め合うことができます。 ・この活動を広めたいと考え各学校に花の種を送る活動をしています。まだ魅力を伝え切れていません。各学校の代表を集め、この活動を広める学校間の交流会等が開催できれば良いのではないのでしょうか。深谷市として「緑で地域をつなぐ活動」に協力していただきたい。	・教育委員会では、皆さんがまごころと思いやりのある子どもたちになって欲しいと願っています。 ・「花の郵便屋さん」は皆さんが地域の方々との交流を深めあう素晴らしい活動で、市の目指す教育を実現する大変価値ある行いであり、とてもありがたく思います。 ・教育委員会では、「花の郵便屋さん」の取組を参考に、全小学校で花を育て、児童が書いた手紙をつけて一人暮らしの高齢者にお届けする「まごころ訪問」を実施しています。 ・生徒協議会などで議題にあげていただくなど、他校の生徒会に呼び掛けて、その輪を広げていくことが効果的だと思います。 ・教育委員会としても、そうした活動を応援すると共に、「まごころ訪問」を推進していきます。	教育部長		

令和元年度子ども議会（中学生の部） 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
11	21	豊里中学校	ふっかちゃんの旅について	・ふっかちゃんは有名で特に小さい子どもに人気です。 ・渋沢栄一記念館で開かれるイベントでは、ふっかちゃんに因んだ食べ物やアトラクションなどがあります。 ・ふっかちゃんを深く知ってもらえるように、ふっかちゃんが市内を巡る「ふっかちゃんの旅」に出て欲しいと思います。	・ふっかちゃんの旅は、ふっかちゃんのことを深く知ってもらうだけでなく、市内外の人に深谷をより知っていただく上で、とても有効だと思いますので、検討していきます。 ・広報ふかやでは、ふっか散歩というコーナーで、毎月、ふっかちゃんが市内の施設などを訪れ、日常から深谷の情報を伝えています。まっぶる 特別編集 深谷では、ふっかちゃんが渋沢栄一のゆかりの地を巡るなど、市内のおすすめスポットを紹介しています。深谷市魅力発信ポータルサイトでは、ふっかちゃんがサイトのナビゲーターとなり、市の魅力を発信しています。 ・今後も、ふっかちゃんを活用した市とふっかちゃんのPRに努めていきます。議員には、深谷や深谷の魅力がもっと伝わるよう応援をお願いします。	協働推進部長		
12	2	藤沢中学校	公民館で行われている事業について	・市内には12の公民館があり、様々なイベントが行われています。 ・多くの年代の人が利用できることが公民館の魅力だと思います。その魅力をもっと多くの人に知ってもらい活用すれば地域の活性化に繋がると思います。 ・現在企画している、幅広い世代の人が交流できる事業があれば教えてください。 ・また、今まで実施してきた事業を教えてください。	・深谷市には充実した公民館が各地区に整備され、地域が活性化する活動が行われ、イベントを通じて世代間の交流がなされています。 ・地域と学校が連携・協働し、地域全体で子供たちを支え、地域を活性化する活動が全国的に推進され、多世代間交流事業は今後重要となっていきます。 ・公民館で実施している多世代間交流事業として、藤沢公民館では「地区の体育祭」や「公民館まつり」があります。ほかにも他の公民館事業として、「サケの稚魚の放流」や「ふるさと子どもまつり」などの事業が文部科学大臣から表彰を受けています。 ・今後はもっと公民館を利用いただき、地域の活性化に繋げていただきたい。	教育部長	・それらの公民館事業は、どのような意見に基づき、どのような過程で企画しているのでしょうか。	・地域の方々に形成された実行委員会などの中で毎年実施内容を協議し、見直しなどを繰り返し、積み重ねて実施されています。
13	4	深谷中学校	産業振興部の取り組みについて	・産業振興部の方々は、市にたくさんの方が来るような働きかけや、ふるさと納税、そして農産物や工業製品を有名にする行動をしていることを知り、市のためにたくさんの方が関わっていると思いました。 ・「農業、商業、工業がもっとさかんになるために」とは、具体的にどんな取り組みをしているのでしょうか。	・市では、産業振興部内に「産業ブランド推進室」という部署を設置し、農業、商業、工業を分けるのではなく、一体的に捉え、新たな産業価値を生み出すことを目指しています。 ・「深谷市産業ブランディング推進方針」を定め、市の産業が目指すべき目標を「儲かる農業都市ふかや」とし、3つの取り組みを進めています。 ・1つ目は、「まち全体を野菜のテーマパークにする観光の取組」、2つ目は「アグリテック集積都市DEEPPVALLEYを実現する企業誘致の取組」、3つ目は「地域通貨ネギーを導入する経済循環を高める取組」です。 ・市の産業振興は、全国的に見ても最先端の取組を行い、農業、商業、工業がもっと盛んになることを目指しています。	産業振興部長	・そのような取り組みを市民へもっと周知すべきではないでしょうか。	・これらの取り組みを進めるのにあたって、農協や大学に協力を得るために説明しているとともに、農家の方の代表者が集まる農業委員などへ説明しています。
14	6	幡羅中学校	日本の少子高齢化と人口減少によって起こる空き家問題について	・空き家問題は、人が住まないことで老朽化が進み、通学路での倒壊の危険性が問題視されています。また、空き家に犯罪者が住みついて治安が悪くなり、雑草などが生い茂り地域のイメージが悪くなってしまう社会問題になっていると聞きました。 ・空き家をどうするのか市の未来を考える上で大切だと思います。市では空き家問題に対して具体的にどのような対策をしているのか教えてください。	・空き家については、全国的に増加しており、市でも年々増加しています。 ・空き家対策は、所有者個人の問題だけでなく、市全体の問題として考え、市民、関係団体、事業者などと協力して取り組んでいます。 ・具体的には、平成26年度から空き家の実態調査を行い、空き家所有者へ管理のお願いを通知したり、新しい人が住み有効活用される取組を行ったり、相談窓口や相談会による所有者への支援、空き家予防の働きかけを行ったりしています。	協働推進部長		
15	8	明戸中学校	道路の線が薄くなってしまっていて、見づらいことについて	・歩道と車道の間の白い線が薄れていると感じます。 ・安全のためにも改めて白い線を引いていただけますか。	・「歩道と車道の間にある白い線」は、歩行者と自動車を分離し、安全に通行できるよう設置されているものです。 ・国道、県道、市道、それぞれの管理者が白い線を引いています。 ・市では、白い線が薄くなったところを随時引き直していますが、市道はたくさんあります。全て把握するのが困難ですが、できる限り行っています。 ・薄いところがあった場合は、家族や学校に相談し、自治会に話してください。	都市整備部長		
16	10	東京成徳大学深谷中学校	障害者の方々やお年寄りへの対応について	・障害者やお年寄りが公共のトイレを広くしてほしい、スロープをもっと増やしてほしいなどという声を何度か聞いたことがあります。 ・介護する側の意見を取り入れることはよく聞きますが、介護される側の意見を積極的に取り入れることも推奨しているのですか。 ・推奨しているのであれば、どのような形で取り入れられてきましたか。	・「介護される側の意見を取り入れることを推奨しているか」については、大変重要なことと考えています。 ・「介護される側の意見がどのような形で取り入れられてきたか」については、新しく建てる施設では、法や条例で「介護されている方々」のことを考えた建物などを造ることが決められています。すでに使われている施設では、利用者からの意見をもらい、スロープの設置やトイレの洋式化などを行っています。 ・このほかに、障害者やお年寄りにアンケート調査を実施して、意見や要望を聞き、支援のための「福祉計画」をつくっています。さらに、「市長への手紙」「市長訪問対話会」で皆さんの意見をまちづくりに反映しています。	福祉健康部長		

令和元年度子ども議会（中学生の部） 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
17	12	花園中学校	深谷市の教育水準向上について	・市では、中2の数検、中3の英検の受験費用を1回ずつ補助してくれると聞きました。 ・みんなが等しく受検機会を得て、経済的負担も減って有難いです。 ・この取り組みを始めて効果はいかがでしょうか。 ・また、市民から届いている声があったら教えてください。	・数検サポート事業では、中2で4級程度取得が目安ですが、昨年の合格率は59. 8%で全国平均58. 8%を上回っています。 ・英検サポート事業では、国の目標が中3で3級以上取得が50%ですが、昨年度34%であり、一昨年度22%より増えているもののもう少し頑張る必要があります。 ・検定サポート事業の効果については、さらに上の検定に挑戦しようとする生徒が増えるなど、学習意欲が増す効果がありました。 ・また、全額補助で資格が取得できることは大変ありがたい、検定に関心がなかった子どもの意欲が見えるようになったという声をたくさんいただいています。	教育部長		
18	14	川本中学校	ふるさと納税の税の使い道について	・ふるさと納税の新制度では、豪華な返礼品で多額の寄附を集めた自治体が利用を認められないことが決定し世間を騒がせていました。 ・県内では、除外されたり、期間を限定された自治体はないようですが、ふるさと納税により寄附された税金は、市民のためにどのようなことに使われているのですか。	・市では、ふるさと納税で寄附をいただく時に、寄附金の使い道を選んでいただいています。 ・使い方は3つで、1つ目は「深谷市をまるごと応援！」で、アスリートクラブ事業や小中学校のコンピューター教材整備事業に活用します。 2つ目は「渋沢栄一翁など郷土の偉人の精神を生かしたまちづくり！」で、栄一翁が行った取り組みなどを広く知ってもらう事業に活用します。 3つ目は「ふっかちゃんを応援～深谷市の魅力発信！」でふっかちゃんの活動やふっかちゃんを通じた市の知名度向上の事業に活用します。 ・今後も寄附者に使い道を選んでいただきながら、幅広く有効に活用していきたいと考えます。	企画財政部長		
19	16	岡部中学校	深谷市のことを広く知ってもらうためについて	・最近、深谷市が注目されています。 ・ふっかちゃんがゆるキャラグランプリで活躍し、渋沢栄一翁が新1万円札に決定しました。 ・市ではこのようなニュースを広く知ってもらうための活動はもちろん、他にどのようなPR活動をしているのでしょうか。	・市では、市の魅力を市内外に発信し、多くの人が深谷を訪れ、将来的に深谷に住んでもらえるようプロモーション活動に取り組んでいます。 ・活動にあたり「深谷市シティプロモーション戦略プラン」を策定し、市の情報がメディアに取り上げられるようPR会社の助言を受けながら、効果的に発信に努めています。 ・その他、深谷市シティプロモーション動画の公開や深谷市親善大使の任命などの取り組みも行っています。都内で記者発表会を開催し、メディアにも多く取り上げられ、深谷を広く知ってもらえました。 ・市では、各種メディアを有効に活用し、深谷の魅力を多くの人に伝えられるよう深谷に関わる全ての人でプロモーションする「オール深谷」の体制でPRを展開しています。	協働推進部長		
20	18	上柴中学校	深谷市の事故減少について	・埼玉県は事故が多いと聞きました。急に車が突っ込んできたり、ブロック塀が落ちてくるなどの危険性がある場所は市に直してほしいです。 ・実際に通学路でも道幅が狭く、見づらいカーブミラー箇所にはさらにミラー設置を、車の通行量が多いのに歩道がない箇所にはガードレール設置を行い、安全対策を実施してほしい。	・統計では交通死亡事故の最も多い発生原因は「前方不注意」です。このため、交通安全キャンペーンや交通安全教室等、交通安全啓発を実施しています。 ・通学路安全対策として、学校からの危険箇所情報を基に、路面の安全標示等の設置・管理を行っています。平成29年度からの5か年で学路整備計画作成し、予定を繰り上げて工事を完了しました。 ・自治会からの要望に基づきカーブミラーや街灯、ガードレール等の設置や修繕を行い、安全で通行しやすい道路の整備に努めています。 ・ブロック塀の点検の仕方などをお知らせをし、危険なブロック塀の撤去や改修のための補助制度を創設しました。 ・危険箇所を発見したら、御家族の方や学校へ相談してください。市も警察や学校、地域の方々と協力し交通安全対策を行っていきます。	都市整備部	・交通安全キャンペーンとはどんな取り組みですか。	・交通安全キャンペーンについては、年4回交通事故防止の運動として警察や交通安全母の会の会員などと一緒に啓発チラシや啓発グッズを直接ドライバーへ配布する取り組みです。
21	20	南中学校	認知症サポーターの取り組みについて	・南中では全校生徒が認知症サポーターの講習を受け、認知症の方との接し方などを学びました。 ・講習を受け、防災行政無線で放送される迷い人の多くは認知症だと分かりました。 ・認知症について多くの方に知ってもらうため、他の中学校などにも広めていければと考えています。 ・市では認知症の対策として、どのような考えを持っているのか教えてください。	・「認知症サポーター養成」の取り組みとして、年齢を問わず子どもからお年寄りまで様々なグループから要請をいただいて講師を派遣し、「認知症」について理解を深めていただくための「認知症サポーター養成講座」を実施しています。 ・今後、より多くの中学校で実施できるよう、各学校や教育委員会と協力していきたいと考えています。 ・認知症対策としては、認知症予防教室の実施や各地域に認知症に関する専門の相談員を配置するなどしています。 ・市では様々な地域の方々の協力をいただきながら、「住民のみなさんがお互いに支え合って、できるだけ住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる地域づくり」に取り組んでまいります。	福祉健康部長		

令和元年度子ども議会(中学生の部) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
22	22	豊里中学校	深谷市のアピール方法について	・渋沢栄一翁が新1万円札のデザインになることをニュースで聞きとても嬉しかったです。渋沢栄一記念館にも多くの観光客が来て市自体がとても熱くなっていると思います。 ・これから市をもっとPRするために何か考えていることがありますか。深谷市がもっと全国に知られるよう盛り上げてください。	・渋沢栄一翁が新1万円札のデザインになることは、地元の人や関連団体の後押しがあり、成し得たものと思っています。 ・市では、渋沢栄一翁を通した市のPR活動の他、11月23日の勤労感謝の日に大切な人へ労いの気持ちを込めて、ねぎ束やねぎ料理を贈る深谷ねぎらいの日に取り組んでいます。都内記者発表会、市内スーパーでの深谷ねぎの振る舞いなど、メディアにも多く取り上げられ、深谷をPRできました。 ・今年も、深谷ねぎらいの日を展開し、深谷発の新たな風習を根付かせていきたいと考えます。深谷のPRをより進展させるためには、市役所のみでなく、市民のみなさん一人ひとりが深谷のPRマンとなり、PRしていくことが大切です。 ・深谷ねぎらいの日は、勤労感謝の日に限らず、頑張っている人に感謝を表す時に、ねぎを振る舞う取り組みです。議員には、大切な人にねぎ束やねぎ料理を贈り、その人たちを労っていただきたい。	協働推進部長		